資料４

令和５年度　第１回 大牟田市地域公共交通活性化協議会

［報告事項］
（１）令和４年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

＜目次＞

１．令和４年度事業　地域内フィーダー系統　九州運輸局 二次評価について・・・・・・・・・・・1
２．令和４年度事業　地域公共交通調査事業　九州運輸局 二次評価について・・・・・・・・・・・3
３．[参考]　令和４年度事業　地域間幹線系統　九州運輸局 二次評価について・・・・・・・・・6

令和５年６月２６日
大牟田市　国県道路・地域交通対策課

地域内フィーダー系統

別添2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

地域内フィーダー系統

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）

大牟田市地域公共交通活性化協議会：一次評価

九州運輸局：
二次評価

令和5年3月27日
九州運輸局

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田（株）	米の山・黒崎団地線（18番系統） 西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～黒崎団地前	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C	利用者ニーズの把握を行い、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策（広報、PR活動）の検討・実施など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指したい。	評価の指標は、系統別の利用者数。 公共交通計画策定に伴い実施した調査結果を踏まえ、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための各種取組を実施されたことを評価します。 全体的に目標を下回る結果となっていますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないかどうかについても分析をお願いします。 引き続き、利便性向上や利用促進に取り組んでいただくとともに、地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくことにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		米の山・黒崎団地線（18番系統） 大牟田駅前～新栄町～黒崎団地前		A	C			
		米の山・黒崎団地線（18番系統） 新栄町～手鎌～黒崎団地前		A	C			
		米の山・黒崎団地線（10番系統） 西鉄大牟田営業所～市立病院～普光寺	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。 ・普光寺のバス停で降車の際に配布される抽選券で特産品が当たるイベントを実施した。	A	C			
		米の山・黒崎団地線（10番系統） 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～米の山		A	C			
		米の山・黒崎団地線（10番系統） 大牟田駅～普光寺		A	C			
		米の山・黒崎団地線（10番系統） 大牟田駅～米の山		A	C			
		米の山・黒崎団地線（10番系統） 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～普光寺		A	C			

別添2

地域内フィーダー系統

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

大牟田市地域公共交通活性化協議会：一次評価

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田（株）	上官線（16番系統） ゆめタウン大牟田～笹林～倉掛	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C			
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田（株）	上官線（16番系統） ゆめタウン大牟田～笹林～万田坑	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C			
		上官線（16番系統） 大牟田駅～笹林～倉掛		A	C			
		大牟田市内線（1番系統） 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～三池中町		A	C			
		大牟田市内線（1番系統） 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～久福木団地		A	C			

別添2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（地域公共交通調査等事業）

地域公共交通調査事業

九州運輸局：
二次評価

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定事業（地域公共交通協働トライアル推進事業含む））

大牟田市地域公共交通活性化協議会：一次評価

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	1. 大牟田市及び周辺自治体における現況調査 地域特性、既存公共交通のの現況、上位計画・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理。 2. アンケート・ヒアリング調査 市民アンケート調査（大牟田市全域で15歳以上の市民を対象に市民の移動実態や移動への満足度、利用意向を把握、2,500世帯無作為抽出）、市内路線バスの利用実態調査（交通事業者提供データ）、交通事業者へのヒアリング調査（8事業者）を実施し、大牟田市内の交通事業者やバス等を運行している企業等を対象に運行面や経営面での問題・課題を把握するとともに、各種企業の課題解決と公共交通の利便性向上の両立を図るための企業間連携の可能性や連携に向けた課題を把握。 3. 周辺自治体も含めた現況の公共交通に関する課題抽出や将来の公共交通の維持・確保に向けた検討 各種調査を踏まえ、持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理し、計画（案）を取りまとめた。 4. 協議会開催 計画策定に向けた調査内容や結果を受けて、今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。	A	・大牟田市の様々な公共交通手段（鉄道、路線バス、高速船、タクシー等）が利用できる環境を活かし、交通結節点や拠点となる地域をつなぐ交通ネットワークの確保を図る。 ・将来、人口減少や高齢化が進展したとしても、地域で暮らす誰もが生活利便施設（医療や福祉、子育て、商業施設等）へ安心して移動でき、日常生活を維持することができるような公共交通サービス体系の構築を目指す。	・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で得られた大牟田市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の実状に合致した持続可能な地域公共交通体系の構築がなされることを期待します。 ・また、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、長期的な視点を考慮しつつ、地域特性を踏まえた計画目標の設定を検討されるとともに、策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施し、見直しが行われることを期待します。	

別添2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

参考資料

令和5年3月27日

九州運輸局

地域間幹線系統

九州運輸局：
二次評価

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県バス対策協議会	堀川バス㈱ 昭和自動車㈱ 西鉄バス佐賀㈱ 西鉄バス佐賀㈱・西鉄バス久留米 西鉄バス久留米㈱ 西鉄バス筑豊㈱ 西鉄バス宗像㈱ 西鉄バス大牟田㈱ 西鉄バス北九州㈱ 西鉄バス二日市㈱ JR九州バス㈱ ㈱甘木観光バス	50系統 ※詳細は別添一次評価のとおり	別添一次評価のとおり	A評価：32系統 B評価：18系統 C評価：0系統	A評価：13系統 B評価：26系統 C評価：11系統 【参考：前年度】 A評価：3系統 B評価：10系統 C評価：26系統	別添一次評価のとおり	コロナ禍においても、企画乗車券の販売、イベントとのタイアップ、バスの乗り方教室の開催、時刻表や沿線情報チラシの配布を行う等利用促進に取り組まれていること、路線やダイヤの再編・見直しを行い利便性の向上、観光需要の取り込み、運行の効率化に取り組まれていることを評価します。 目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果についても記載をお願いします。 目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記載することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、その他に原因がないかどうかについても、分析をお願いします。 そして、詳細な要因分析に基づいた事業の今後の改善点をご検討ください。 さらに、目標を達成できた系統や要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。 今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。	評価指標 【収支率】 【輸送人員】

地域間幹線系統

別添1

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
上官線25番系統 西鉄バス大牟田（株）	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	前年度の事業評価を踏まえ、次の取り組みを実施した。 (1)関係自治体と連携し、商業施設などで利用促進のチラシ配布等を行ったが、ポスティングはできていない。 (2)大牟田市動物園きっぷの継続販売を行った他、動物園で公式キャラクターとの撮影会を実施した。 (3)新勝立地区へのポスティングはできていない。 (4)定期券価格・ポイント付与の見直しを行い、収支改善に務めた。	B	事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 商業施設でのチラシ配布の取組は行えたものの、ポスティングについては実施ができていないため。	B	【目標】収支率29.1% 輸送人員27,180人 【実績】収支率25.09% 輸送人員22,063人 令和3年10月1日実施の廃止系統（大牟田駅～新勝立四丁目系統）の受け皿となるため収支改善を見込んでいたが、目標未達の要因として、利用促進のための、ポスティングができていない他、新型コロナウイルス感染症拡大による外出控え等の影響で、利用者が減少したことが考えられる。	輸送量が15.0人を下回っているため、本系統の今後の在り方について、沿線自治体と継続協議を行っていく。
吉野線55番系統 西鉄バス大牟田（株）	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関	前年度の事業評価を踏まえ、次の取り組みを実施した。 (1)関係自治体と連携し、商業施設などで利用促進のチラシ配布等を行ったが、ポスティングはできていない。 (2)大牟田市動物園きっぷの継続販売を行った他、動物園で公式キャラクターとの撮影会を実施した。 (3)定期券価格・ポイント付与の見直しを行い、収支改善に務めた。 (4)新大牟田駅への接続向上については、観光庁の補助事業で、アクセスバスを運行したため、55番系統においては実施をしていない。	B	事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 商業施設でのチラシ配布の取組は行えたものの、ポスティングについては実施ができていないため。	B	【目標】収支率39.0% 輸送人員106,406人 【実績】収支率37.26% 輸送人員99,726人 目標未達の要因として、利用促進のための、ポスティングができていない他、新型コロナウイルス感染症拡大による外出控え等の影響で、利用者が減少したことが考えられる。	新しい生活様式に即した利用促進策の検討を行い、効果が見込まれる取り組みについて導入を図る。2023年3月18日に九州新幹線のダイヤ改正が実施され、パターンダイヤになる予定。沿線自治体と継続協議を行っていく。

地域間幹線系統

別添1

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
大牟田市内線 ２番系統 西鉄バス大牟田（株）	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	前年度の事業評価を踏まえ、次の取り組みを実施した。 (1)利用状況を鑑み、合理化を行い、費用の圧縮を図った。※2021年10月1日見直し実施 (2)関係自治体と連携し、商業施設などで利用促進のチラシ配布等を行ったが、ポスティングはできていない。 (3)定期券価格・ポイント付与の見直しを行い、収支改善に務めた。	B	事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 商業施設でのチラシ配布の取組は行えたものの、ポスティングについては実施ができていないため。	B	【目標】収支率72.3% 輸送人員135,651人 【実績】収支率64.14% 輸送人員97,454人 令和3年10月に収支改善のため、減便を行った。下記三池中町系統と並走しているため、基本的に交互に運行している。お客さまが多い時間帯を運行する下記系統の収支率は改善した一方、当系統は、運行時間帯がずれたことにより収支が悪化したと考える。	新しい生活様式に即した利用促進策の検討を行い、効果が見込まれる取り組みについて導入を図る。
大牟田市内線 ４番系統 西鉄バス大牟田（株）	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	前年度の事業評価を踏まえ、次の取り組みを実施した。 (1)利用状況を鑑み、合理化を行い、費用の圧縮を図った。※2021年10月1日見直し実施 (2)関係自治体と連携し、商業施設などで利用促進のチラシ配布等を行ったが、ポスティングはできていない。 (3)定期券価格・ポイント付与の見直しを行い、収支改善に務めた。	B	事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 商業施設でのチラシ配布の取組は行えたものの、ポスティングについては実施ができていないため。	A	【目標】収支率64.8% 輸送人員98,198人 【実績】収支率68.12% 輸送人員97,996人 2021年10月に収支改善のため、減便を行った。上記久福木団地系統と並走しているため、基本的に交互に運行している。お客さまが多い時間帯を運行する当系統の収支率は改善した一方、久福木団地系統は、運行時間帯がずれたことにより収支が悪化したと考える。	新しい生活様式に即した利用促進策の検討を行い、効果が見込まれる取り組みについて導入を図る。